

首里城扁額製作検討委員会 第 1 回

第 1 回委員会：8 月 1 3 日（金）13:30 - 15:30

【資料 2】 前回製作時の概要

- 2-1. 正殿扁額とは
- 2-2. 扁額と正殿の時代的な整合性
- 2-3. 前回製作時の経緯
- 2-4. 製作工程の手順と期間

2-1. 正殿扁額とは

資料 2

(1) 正殿扁額について

- かつて中国と琉球は冊封・進貢関係にあり、中国皇帝が使節団（冊封使）を送って琉球の新たな国王を認知し、冠・衣裳や御書を与えていた。
- 正殿扁額は、中国皇帝から贈られた御書を板に写して額縁に仕立てたものである。

□中山世土
(ちゅうざんせいど)
・琉球は中山王が代々、治めてゆく国である。
世：世の中 土：国土

□輯瑞球陽
(しゅうずいきゅうよう)
・琉球はめでたい印が集まっている。
輯：集める、和らげる
瑞：しあわせな状態、めでたい印

□永祚瀛壖
(えいそえいぜん)
・海の向こうにある琉球を永く幸いに治めよ。
祚：幸い 瀛：大海 壖：辺りなところ

前回製作時
1枚あたり
・寸法：横約3.8m・縦約1.5m（額縁含む）
・重さ：約170kg（うち漆塗30kg）

中国皇帝が琉球に与えた扁額のリスト

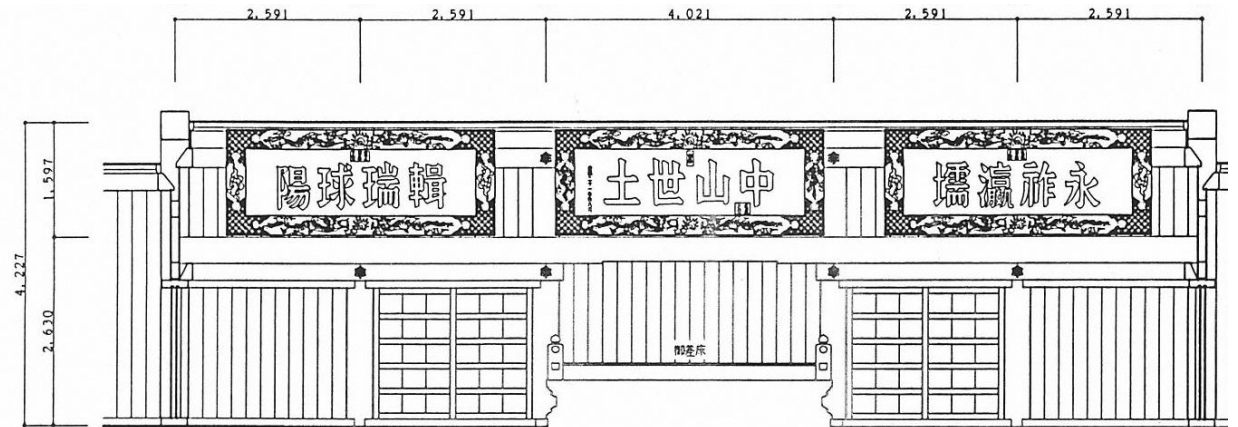
年代	中国年号	琉球王	御書扁額
1682年	康熙21年	尚貞	中山世土
1724年	雍正2年	尚敬	輯瑞球陽
1738年	乾隆3年	尚敬	永祚瀛壖
1784年	乾隆49年	尚穆	海邦濟美
1799年	嘉慶4年	尚温	海表恭藩
1826年	道光6年	尚灝	屏輪東南
1838年	道光18年	尚育	弼服海隅
1853年	咸豊3年	尚泰	同文式化
1865年	同治4年	尚泰	瀛嶠屏藩

※中国側の資料のため、中国が扁額を琉球に与えた年代と想定

出典：『首里城正殿扁額等基本及び実施設計業務』

（平成13年3月、（財）海洋博覧会記念公園管理財団）より

正殿2階の扁額



出典：『首里城関係資料（扁額・御轎）調査・設計』


（平成6年9月、（財）海洋博覧会記念公園管理財団）より

2-2. 扁額と正殿の時代的な整合性

資料 2

(1) 扁額 3 枚の時代性

- ・扁額 3 枚「中山世土」「輯瑞球陽」「永祚瀛壖」は、“冊封使録”（那覇市史 資料編 第 1 巻 3 読み下し編）によると、1756年及び1800年の時点で、正殿 2 階に掲げられていたことがわかっている。
- ・復元される正殿の時代設定、特に重要な根拠資料「寸法記」「尚家文書」に示される正殿の時期には、扁額 3 枚が掲げられており、扁額と正殿の時代的な整合性は確保されるものと理解できる。

正殿	1709年	1712-15年	1768年	1846年	1877年	1925年	1933年	1945年	1992年	1995年	2002年	2019年
	焼失	再建	重修 [寸法記]	重修 [尚家文書]	新たな古写真	旧国宝指定	昭和の大修理	沖縄戦で焼失	前回復元			火災で焼失
正殿の基本方針（復元年代の範囲）：1712～1925年（213年間） 												
扁額	1683年 [使琉球雑録]	1719年 [中山傳信録]	1756年 [琉球國志略]	1800年 [使琉球記]								
[中山世土]	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	前回製作	
[輯瑞球陽]			○	○	-	-	-	-	-	-	前回製作	
[永祚瀛壖]			○	○	-	-	-	-	-	-	前回製作	

※1882年[尾崎三良日誌] 1879年の廃藩置県以降、聞得大君御殿で同規模の扁額が確認された記載あり

※那覇市史 資料編 第 1 巻 3 読み下し編 - p59,115,222,264の記載を参考に整理

2-3. 前回製作時の経緯

資料 2

(1) 前回製作時の調査・設計・製作等

・調査・設計・製作について、各段階で委員会等を開催し、指導・助言を受けながら実施した。

種別	1994(H6)年 1995(H7)年 (中山世土)		2000(H12)年 2001(H13)年 2002(H14)年 (輯瑞球陽・永祚瀛壖)		
	調査	3枚の選定、書の内容の設定 県内・本土扁額事例の髹漆・加飾の比較	中山世土 書体作成	輯瑞球陽・永祚瀛壖 書体作成 中国の扁額事例・文書の調査	
設計	文字・文様の設定図 特記仕様・実施設計		文字・文様の設定図 特記仕様・実施設計		
製作		木材調達・加工 原書・原図・施工図 文字・落款彫刻 漆塗り 文字・落款箔押・金粉 文様箔絵・箔押		木材調達・加工 原書・原図・施工図 文字・落款彫刻 漆塗り 文字・落款箔押 文様箔絵・箔押	
正殿設置		搬入・取付			搬入・取付
委員会等	設計に関する検討会ヒアリング	製作に関する検討会全5回	設計に関する検討会全3回		製作に関する検討会全3回

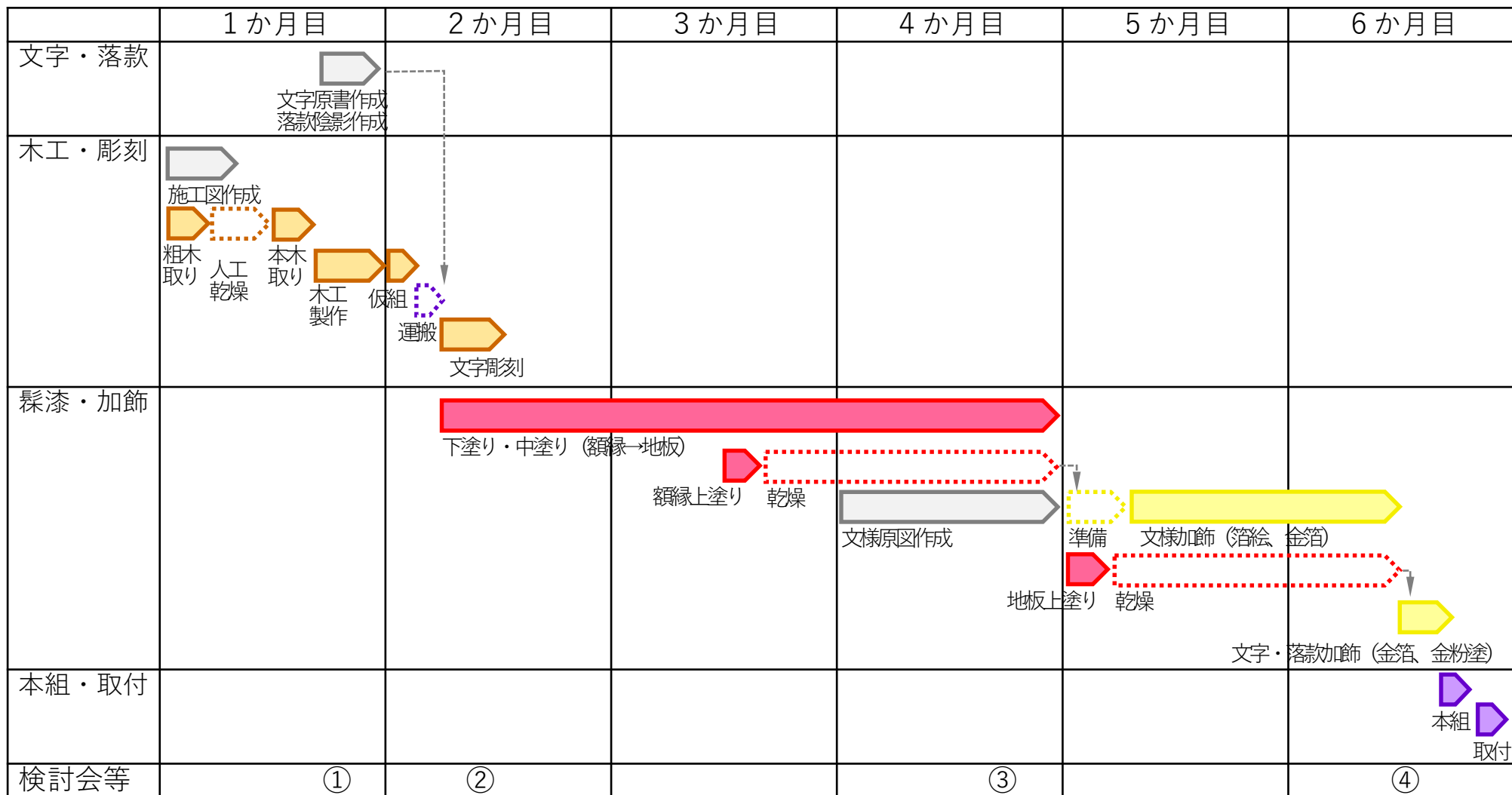
※ (一財) 沖縄美ら島財団内部資料を参考に作成

2-4. 製作工程の手順と期間

資料 2

(1) 製作工程の手順と期間

・前回製作時を参考に、1枚あたりの文字・落款、木工・彫刻、髹漆・加飾の工程の手順と期間のイメージを示す。



参考：「中国皇帝御書扁額『中山世土』製作業務」（平成7年10月、財団法人 海洋博覧会記念公園管理財団）
 「首里城正殿扁額製作業務」（平成14年8月、財団法人 海洋博覧会記念公園管理財団）を参考に作成